

令和5年度  
事業報告書

社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

## 目 次

1	理事会・評議員会等開催状況	1 P
2	社協会員・会費状況	4 P
3	会員募集協力自治会助成事業	5 P
4	ふれあい出前講座	5 P
5	お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業	6 P
6	大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（民間団体提案型）事業	6 P
7	地域福祉部会活動	7 P
8	大東市地域貢献委員会の取組み	7 P
9	福祉機器銀行取扱状況	8 P
10	視覚障害者用「声の広報」作成業務	8 P
11	視覚障害者用「声の議会だより」作成業務	8 P
12	高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」	9 P
13	ボランティアセンター事業	10 P
14	校区(地区)福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動	12 P
15	日常生活自立支援事業	13 P
16	献血推進事業	15 P
17	貸付制度	18 P
18	善意銀行の状況	19 P
19	共同募金運動の状況	20 P
20	歳末たすけあい運動の状況	20 P
21	空き家活用事業「RiBBON」	21 P
22	ボランティア基金の状況	22 P
23	社会福祉基金の状況	22 P
24	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	23 P
25	生活困窮者自立相談支援事業	24 P
26	生活困窮者緊急物資等支援事業	25 P
27	放課後児童健全育成事業	26 P
28	総合福祉センター事業	27 P

# 1 理事会・評議員会等開催状況

## 《理事会》

回	開催日	開催場所	出席数	案件
1	令和5年 5月26日(金) (開会)午前 10:00 (閉会)午前 11:21	大会議室	理事 12名 監事 2名	①大東市社会福祉協議会副会長の選定 ②令和4年度事業報告の承認 ③令和4年度決算報告の承認 ④評議員選任・解任委員会委員の選任 ⑤令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催 ⑥～⑦評議員候補者の推薦 ⑧令和5年度第1回(定時)評議員会の開催 ⑨～⑳役員(理事・監事)候補者の推薦
2	令和5年 6月16日(金) (開会)午後 2:00 (閉会)午後 2:15	大会議室	理事 13名 監事 2名	①大東市社会福祉協議会会長の選定 ②～③大東市社会福祉協議会副会長の選定
2	令和6年 3月15日(金) (開会)午後 2:00 (閉会)午後 2:56	大会議室	理事 15名 監事 2名	①令和5年度補正予算(案) ②社会福祉法人大東市社会福祉協議会経理規程の改訂 ③令和6年度事業計画(案) ④令和6年度予算(案) ⑤役員等賠償責任保険契約 ⑥令和5年度第2回評議員選任・解任委員会の開催 ⑦～⑨評議員候補者の推薦 ⑩令和5年度第2回評議員会の開催 ⑪～⑳地域福祉部会委員選任の同意

## 《評議員会》

回	開催日	開催場所	出席数	案件
1	令和5年 6月16日(金) (開会)午前 10:00 (閉会)午前 11:08	大会議室	評議員 17名 理事 1名 監事 2名	①令和4年度事業報告の承認 ②令和4年度決算報告の承認 ③～⑱役員(理事・監事)の選任
2	令和6年 3月29日(金) (開会)午後 2:00 (閉会)午後 2:40	大会議室	評議員 17名 理事 1名 監事 2名	①令和5年度補正予算(案) ②令和6年度事業計画(案) ③令和6年度予算(案)

## 《評議員選任・解任委員会》

回	開催日時	開催場所	出席数	案件
1	令和5年 6月2日(金) (開会)午前 10:00 (閉会)午前 10:15	社会適応訓練室	委員 5名	①～②評議員の選任
2	令和6年 3月22日(金) (開会)午後 1:58 (閉会)午後 2:11	中会議室	委員 5名	①～③評議員の選任

《その他の会議》

会議名称区分	開催回数
地域福祉部会	1
ボランティア団体連絡会	3
大東市献血推進協議会	1
大東市地域貢献委員会	3
大東市校区（地区）福祉委員会委員長連絡会	3

《他機関会議等への参加》

会議名称区分	出席回数	参加人数	備考(主催者等)
民生委員児童委員推薦会	2	2	大東市
子ども・子育て会議	3	3	大東市
児童虐待防止代表者会議	1	1	大東市
障害者総合支援協議会	2	2	大東市
障害者虐待防止連絡会議（代表者会議）	1	1	大東市
障害者虐待防止連絡会議（実務者会議）	3	3	大東市
総合介護計画運営協議会	4	4	大東市
地域包括支援センター運営協議会	2	2	大東市
国民健康保険運営協議会	2	2	大東市
自殺対策推進連絡会議	2	2	大東市
DV防止対策連絡会議代表者会議	1	1	大東市
人権擁護施策推進審議会	1	1	大東市
福祉センター4施設所長会議	1	1	大東市
ひとり親家庭・生活困窮者自立支援事業月例報告会	10	10	大東市
人権啓発ネットワーク役員会	2	2	大東市
コミュニティソーシャルワーカー協議会	12	24	大東市他
北河内福祉有償運送運営協議会	3	3	北河内7市
北河内介護人材確保連絡会議	2	2	北河内7市・社協
北河内地区社会福祉協議会連絡会	4	15	北河内7市社協合同
北河内地区社協日常生活自立支援事業情報交換会	1	4	北河内7市社協合同
北河内地区社協ボランティアセンター担当者会議	1	1	北河内7市社協合同
北河内保健医療協議会	3	3	守口・寝屋川保健所

《他機関会議等への参加》

共同募金会（評議員会・事務局長会）等	5	5	大阪府共同募金会
市町村社協連合会総会	1	1	大阪府社会福祉協議会
市町村社協会長・役員会・事務局長会	8	8	大阪府社会福祉協議会
市町村社協連合会役員会・合同会議	5	6	大阪府社会福祉協議会
地域福祉推進担当課長・職員会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
ボランティア担当者会議	2	2	大阪府社会福祉協議会
社会福祉施設Vコーディネーター情報交換会	1	1	大阪府社会福祉協議会
民生委員児童委員協議会関係	1	1	大阪府社会福祉協議会
日常生活自立支援事業会議・研修会等	7	14	大阪府社会福祉協議会
災害担当職員会議	1	3	大阪府社会福祉協議会
災害ボランティアコーディネーター研修会	1	1	大阪府社会福祉協議会
大阪府災害Vセンター運営シュミレーション	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域貢献委員会代表者会議	1	1	大阪府社会福祉協議会
大阪しあわせネットワーク実践セミナー	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域ケア会議運営委員会	6	6	大東市地域包括支援センター
地域ケア会議実務担当者部会	11	13	大東市地域包括支援センター
地域ケア会議課長級会議	1	1	大東市地域包括支援センター
ネットワーク会議	6	6	大東市地域包括支援センター
認知症対策会議	6	6	大東市地域包括支援センター
シルバー人材センター理事会	1	1	大東市シルバー人材センター

## 2 社協会員・会費状況

本会では、昭和41年の社会福祉法人化以来「会員会費制度」を施行し、地域福祉における自主財源の確保に努めています。この制度は、区長・自治会長をはじめとした地域役員そして何よりも住民の温かい理解と協力によりその定着が図られています。

この会費は、事業費及び運営費に使用されています。

### 《会費区分一覧》

種 別	会 費 (円)	対 象	備 考
一般会員	500	市 民	4月に自治会を通じ募集
賛助会員	A 3,000		
	B 2,000		
	C 1,000		
特別賛助会員	10,000(1口)	市内法人(企業)	個別集金・振込

### 《会員募集結果一覧》

種 別	会 費 (円)	世帯・法人数	金 額 (円)
一般会員	500	14,324	7,162,163
賛助会員	A 3,000	7	21,000
	B 2,000	20	40,000
	C 1,000	130	130,000
特別賛助会員	10,000(1口)	97	1,080,000
合 計		14,578	8,433,163

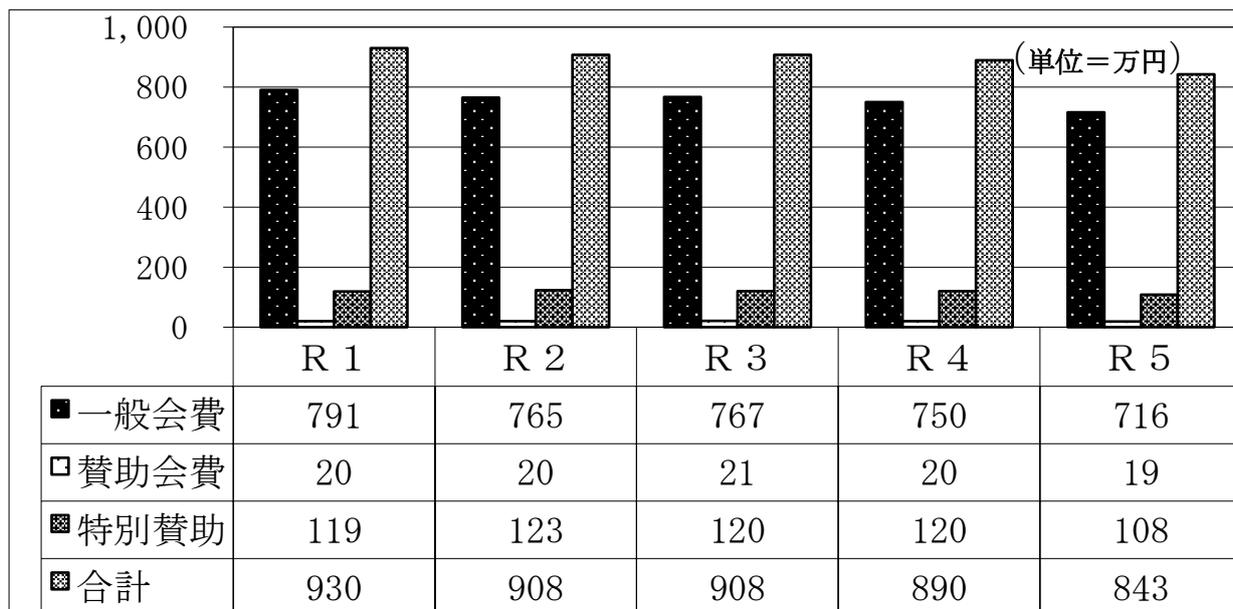
※ 特別賛助会員の複数口数加入法人は、  
2口=5社、3口=1社、5口=1社

### 《会員世帯数》

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
全世帯数	56,918	57,224	57,271	57,800	58,176
会員世帯数	15,829	15,298	15,334	15,000	14,578

市内全世帯に対する会員比率は、約25%と微減しており、地域福祉活動にご賛同いただき、会員として会費にご協力いただけるよう啓発していくことが課題となっています。

## 過去5年の会費額の推移



### 3 会員募集協力自治会助成事業

区・自治会の福祉活動の円滑な推進と活性化を図るため、平成28年度から会員募集協力自治会に対して助成事業を実施しています。

この事業は、交付する年度の前年度において本会会費を納入した区・自治会等に前年度の会員会費実績額の約10%を申請書に基づき助成するものです。令和5年度実績としては59件に732,400円を助成しました。

### 4 ふれあい出前講座

地域住民と本会との繋がりを深め、地域共生社会の実現を目指す「ふれあい出前講座」を実施しています。

講座は、大きく「暮らし」と「災害」に分け、12種類のテーマで本会職員が講師を務め、地域の団体等からの要請に応じて実施しています。

実施月	テーマ	団体	人数
令和4年4月	天災は忘れたころにやってくる	福祉委員会	20
令和4年6月	始める！始まる！ボランティア	短期大学	10
令和4年11月	車いす体験	中学校	73
令和4年11月	車いす体験	中学校	185
令和4年11月	天災は忘れたころにやってくる	福祉委員会	20
令和5年1月	始める！始まる！ボランティア	手話講習会	38
令和5年2月	手話で話してみよう	小学校	82

実施回数 7回

参加人数 428人

## 5 お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業

公共施設や空き家等を活用し地域住民が気軽に集う場を提供し、閉じこもり防止や社会的孤立の解消を図っています。

また、社会福祉・健康に関する情報提供や相談にも対応し、地域住民が快適な生活を送れるよう、校区（地区）福祉委員会や自治会等で組織化して運営を行っています。

### 《事業実績》

実施校区	名称	開所曜日	開所日数	参加人数
谷川中学校区	いこか	水・木曜日	101	1,780
住道中学校区	太陽会	水・金曜日	87	1,234
大東中学校区	ほっと	木・金曜日	72	838
四条中学校区	ゆったり (野崎第一公民館)	水曜日	47	776
	ゆったり (中垣内公民館)	第1・3 木曜日	11	340
	ゆったり (寺川公民館)	第1・3 土曜日	72	608
南郷中学校区	たいし縁	火曜日	24	422
	たいし縁赤井	木曜日	24	97
深野中学校区	ゆっくり	月・水曜日	94	208
合計			532	6,303

## 6 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（民間団体提案型）事業

第4期地域福祉活動計画では、組織内外における情報共有・発信、組織運営の効率化を図るため、SNSを活用した取り組みを掲げています。今回、助成金を活用し、民生委員児童委員理事、校区福祉委員会委員長、お茶のみ休憩所運営委員を対象としたタブレット講習会を実施しました。

講習会受講後、タブレットを活用し、LINEWORKSを通して会議の運営や事前の打ち合わせ、委員会開催の日程調整や被災状況の確認を行いました。

事務の効率化等につながったほか、資料のペーパーレス化、郵送費の削減を図るなどの効果がありました。

「タブレット講習会」 計12回

対象：民生委員児童員、福祉委員、お茶のみ休憩所運営委員

参加人数：（延べ人数）97人

## 7 地域福祉部会活動

本部会は、本会会長の諮問に応じて法人運営および地域福祉活動に関する具体的方策について検討し、その結果を会長に答申する役割を担っています。

令和5年度は、空き家活用事業「R i B B O N」の経過報告、次年度事業について検討を行いました。

開催日	内容
令和6年2月27日(火)	① 空き家活用事業「R i B B O N」について
	② 次年度事業について

## 8 大東市地域貢献委員会の取組み

市内の子ども、高齢、障害の各分野の社会福祉法人等と本会が連携し、地域福祉の向上に寄与することを目的として地域貢献委員会を設置しています。

現在、入会の状況は、子ども分野11法人、高齢分野10法人、障害分野8法人で、合計27法人（2法人は分野の重複）が加入しています。

令和5年度は、大東市とともに加入施設4か所で福祉避難所開設訓練を行いました。

また、相談支援体制の構築、地域の居場所づくりを進め、高齢者施設の駐車場を利用しコーヒー喫茶を行ったり、保育園内で高齢者ヨガを定期的に開催しています。

### 《総会》

開催日	案件
令和5年5月15日(月)	①②令和4年度 大東市地域貢献委員会事業・決算報告 ③④令和5年度 大東市地域貢献委員会事業計画・予算(案)

### 《役員会》

開催日	案件
令和5年 4月26日(水)	総会について
令和5年 7月14日(金)	防災訓練の振り返り・事業計画の実施に向けて
令和6年 2月 2日(金)	しあわせネットワーク活動支援事業の進捗状況について

### 《研修会》

開催日	案件
令和5年 8月21日(月)	「社会福祉法人の使命、重層事業と公益的な取り組みの必要性」 講師：桃山学院大学教授 小野 達也氏 参加人数：15名
令和5年11月21日(火)	「福祉避難所開設、BCPに基づく訓練について」 講師：社会福祉法人 愛和会 長尾 雅子氏 参加人数：21名
令和5年11月29日(水)	「認知症や精神障害への理解と対人援助技術について」 講師：関西医科大学 池田 俊一郎氏 参加人数：18名
令和6年 3月26日(火)	「社会課題解決のための戦略フレームワーク」 講師：e&i経営研究所 高野 浄氏 参加人数：9名

### 《避難訓練》

開催日	案件
令和5年 7月7日(金)	防災訓練(福祉避難所開設等)

## 9 福祉機器銀行取扱状況

市からの受託事業として、市民から寄付のあった車椅子を無料貸し出しする『福祉機器銀行』の運営を行っています。

貸出対象は身体障害者手帳を持つ（申請中も含む）市民又は新規貸出時に介護認定を受けていない（要支援1、2・要介護1は除く）60歳以上の市民です。

### 《福祉機器銀行備品内容》

備品区分	台数（対前年度比）	備考
車椅子	一般型	75（-2） 新規1台、廃棄3台
	子ども用	6（±0） —
	バギータイプ	3（-3） 廃棄3台

### 《月別取り扱い集計票》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計（対前年度比）
新規申込件数	3	8	7	3	3	8	12	12	10	5	5	7	83(+34)
更新件数	8	18	14	9	11	12	8	13	13	8	10	9	133(-6)
合計	11	26	21	12	14	20	20	25	23	13	15	16	216(+28)

## 10 視覚障害者用「声の広報」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の広報」を作成し、月1回の送付を実施しています。

### 《月別取扱集計表》

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
発送件数	33	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	385

## 11 視覚障害者用「声の議会だより」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の議会だより」を作成し、年5回の送付を実施しています。

### 《月別取扱集計表》

区分/月	5	7	8	11	2	合計
発送件数	32	32	32	32	32	160

## 12 高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、乳酸菌飲料のヤクルトを週2回手渡しでお届けしながら高齢者の安否確認、孤独感の解消を図ることを目的として事業を実施しています。

多くの利用者から「ヤクルトさんと会話できるのが嬉しい」、「不在時は、ヤクルトさんが心配してくれるので有難い」との声も頂いています。また、配達時に利用者の異変に気づけば関係機関や緊急連絡先に連絡をします。

### 【対象者】

- 75歳以上のひとり暮らしであること
- 安否確認が可能な介護施設や高齢者施設、高齢者専用住宅などに入居していないこと
- 介護保険の居宅サービス及び介護予防・生活支援サービスを利用していないこと
- 大東市が実施している高齢者給食サービスを利用していないこと

【利用料】 無 料

【配達日】 ①月曜日・木曜日、②火曜日・金曜日 ※（祝日、お盆、年末年始除く）

【利用者数】 258名

《月別実績》

月	登録者数	在宅件数	不在件数
4月	266	1,617	69
5月	263	1,563	64
6月	262	1,743	74
7月	260	1,529	49
8月	260	1,386	52
9月	259	1,532	61
10月	269	1,677	73
11月	267	1,440	59
12月	265	1,548	69
1月	262	1,358	75
2月	260	1,372	56
3月	258	1,408	57
合 計		18,173	758

利用者不在時の対応			
電話での在宅確認	訪問での在宅確認	訪問による安否が確認できず緊急連絡先へ連絡	その他
64	3	2	0
58	6	0	0
70	1	3	0
44	5	0	0
46	2	4	0
52	6	3	0
68	1	4	0
55	3	1	0
64	3	2	0
67	3	3	2
50	5	1	0
51	5	1	0
689	43	24	2

※ ヤクルト配達時、在宅確認ができなかった件数は758件でした。

この内、電話で在宅確認ができたのは689件、自宅訪問によって安否を確認できたのは43件、訪問するも安否を確認できず緊急連絡先へ連絡したのは24件、その他2件となっています。

(その他の内訳)

- ・ 関係機関より情報提供 1件
- ・ 隣人や民生委員児童委員の情報提供 1件

## 13 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や調整、市民への広報活動、大東市ボランティア団体連絡会の後方支援などを行いました。

令和5年度は、夏のボランティア体験プログラムの再開やボランティアフェスティバルを実施しました。今後も積極的なアプローチを続け、活動の啓発に努めていきます。

### 1 ボランティアに関する総合相談

(1) 相談受付件数 98件

(2) ボランティアサロンの開催

実施日 毎週金曜日午後1時30分～3時30分  
場 所 総合福祉センター2階ボランティアルーム  
内 容 収集ボランティア活動を実施しながら、ボランティアに関する相談を行い、誰でも気軽に集まることのできる場を提供  
協 力 ボランティア「さんごじゅの会」

### 2 ボランティア保険への加入

(1) 申込受付件数 456件

(2) 保険内容 ボランティア保険、市民活動行事保険、非営利・有償活動保険  
移送中事故傷害保険

### 3 ボランティア活動団体への助成

助成金交付日 令和5年6月13日(火)  
交付団体数 17団体  
交付金額 80万円  
内訳：5万円(14団体)、4万円(1団体)、3万円(2団体)

### 4 ボランティア関係講習会・研修会の実施

(1) ボランティア講座

開催日時 令和6年3月23日(土) 午前10時～午後12時  
開催場所 市立総合福祉センター 3階 大会議室  
内 容 暮らしを守る防災アクション ゼロ・イチ・二  
～お子さんと一緒に考える災害の備え～  
講 師 一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 栗原 英文 氏  
暮らしの学びサポートオフィス HumanBeing 菅原 清香 氏  
参加者 12名

## (2) ボランティア団体連絡会交流研修会

開催日時 令和5年11月8日(水) 午後2時～4時  
開催場所 市立総合福祉センター 2階 大集会室  
内 容 写真洗浄ボランティアあらいぐま大阪による講演・情報交換会  
講 師 写真洗浄ボランティアあらいぐま大阪 篠原 一夫 氏  
参加者 50名

## 5 市民啓発

### 第16回「大東市ボランティアフェスティバル」

開催日時 令和6年3月10日(日) 午前10時～午後12時30分  
開催場所 市立総合福祉センター  
開催内容 登録ボランティア団体による活動体験コーナー、パフォーマンス  
共 催 大東市ボランティア団体連絡会・大東市社会福祉協議会  
参加者 232名

## 6 関係会議等への参加

- 市町村社協ボランティアセンター担当者会議(府社協主催) 年2回
- 大東市ボランティア団体連絡会へのコーディネーター派遣 年3回
- 大阪府ボランティア連絡会 役員会・総会(府社協主催) 年1回

## 7 ボランティアセンター登録状況

- センター登録団体数 22団体、236名  
(内、ボランティア団体連絡会参加 18団体)

## 14 校区（地区）福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動

平成10年度に創設された大阪府の小地域ネットワーク活動推進事業は、校区（地区）福祉委員会を小地域ネットワーク活動の実践組織として位置付けました。大東市では15校区の福祉委員会が補助対象となっており、1校区あたり50万円の補助金（地域福祉・高齢者福祉交付金）と、歳末助け合い配分金から年額平均20万円の助成を行っています。

活動内容としては、「声かけ・見守り」による安否確認や地域住民同士がふれあい、声をかけあう場の提供として「ふれあいサロン」を開催しています。また、小学校や保育所と連携して「世代間交流事業」を実施しています。

令和5年度もふれあいサロンの対象者を拡げ、より多くの方が参加できる仕組みを検討しました。コロナ禍を経て、世代間交流事業が再開された校区（地区）も多く、地域において世代を超えたつながりや相互理解を深めました。また、外部講師を招いての研修会（人生会議・障害者支援について）を実施しました。

### 《校区(地区)福祉委員会活動実績》

委員会の名称	事業開始年度	個別援助ネット数	ふれあいサロン実施個所	世代間交流の実施	機関紙の発行
三箇校区福祉委員会	H10	28	3		○
諸福校区福祉委員会	H11	54	3	○	○
氷野校区福祉委員会	H12	36	6		○
泉校区福祉委員会	H13	41	4	○	○
四条南地区福祉委員会	H14	42	4		
四条北校区福祉委員会	H14	28	6		
南郷校区福祉委員会	H14	34	3	○	○
深野校区福祉委員会	H14	41	7		○
灰塚校区福祉委員会	H14	24	6		
住道南地区福祉委員会	H14	30	7	○	○
住道北地区福祉委員会	H15	24	4		○
四条地区福祉委員会	H15	37	2		○
深野北校区福祉委員会	H15	10	2		
北条西地区福祉委員会	H15	6	3	○	
北条地区福祉委員会	H15	40	7	○	

## 15 日常生活自立支援事業

認知症や障がいにより判断能力が十分でない方の生活や金銭管理を支える権利擁護支援であると同時に、ご本人自身による決定をお手伝いする意思決定支援です。

### 《サービス内容》

#### ① 福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスの利用に関する相談、契約のお手伝い
- ・行政手続き

#### ② 日常的な金銭管理サービス

- ・福祉サービスや医療費の利用料金、税金や保険料、公共料金、家賃支払い手続き
- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き

#### ③ 書類等預かりサービス

- ・年金証書、預貯金通帳、実印などの書類預かり

### 《相談援助件数（問合せ・相談援助件数）》

内 容 対象者 事 項	本事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	
問合せ件数 (制度、事業について)	2	3	2	2	9
初回相談件数 (初回相談受付)	7	6	5	2	20
累 計	9	9	7	4	29

### 《契約締結件数》

対象者 事 項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	生活保護 (再掲)	合 計
契 約 者 数		2	2	3	(4)	7
契約時自宅外 (再掲)	施 設	0	0	0	—	0
	病 院	0	0	0	—	0
	グループ ホーム	0	2	1	—	3

《終了件数》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		累計	9	3	6

《生活支援員活動件数（契約者訪問件数）》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		累計	総活動件数	574	611
内、生活保護受給者分	192		112	551	855

《実利用人数》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		実利用人数	17	28	29

## 16 献血推進事業

少子高齢化の進行に伴い献血協力者が減少する中、大阪府や赤十字血液センターと連携し、年間を通じて献血者を安定的に確保することを目的に献血事業を実施しています。

大東市献血推進協議会の事務局として、コロナ禍のなか、地域住民の献血の理解と協力を求めるための普及啓発活動を行い、輸血用血液の安定的な供給を目指した活動を実施しました。

詳細については下記の【表1】～【表7】のとおりです。

### 《大東市献血推進協議会総会》

開催日：令和5年6月9日（金）午前10時～午前11時

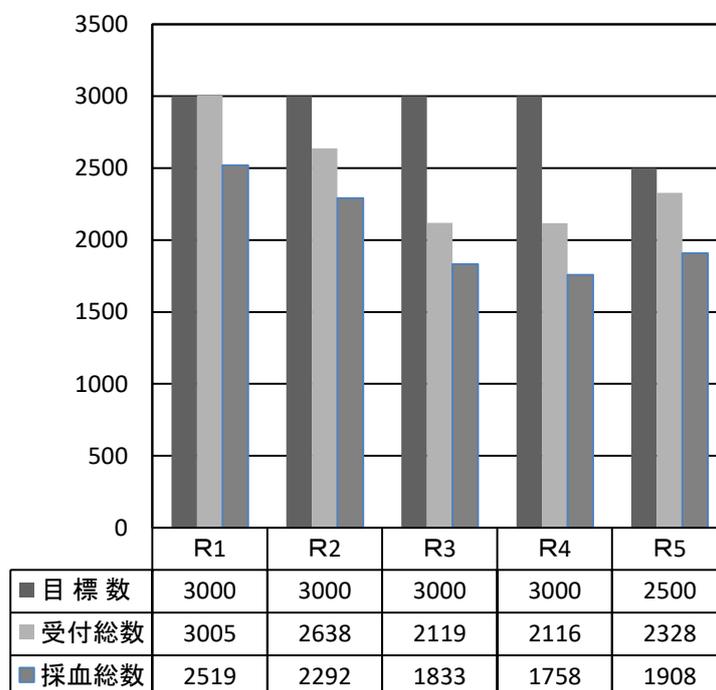
[議案]

- (1) 令和4年度大東市献血推進協議会事業報告並びに決算報告の承認
- (2) 令和5年度大東市献血推進協議会事業計画（案）並びに予算（案）の承認

【表1】 《目標・実績対比一覧》

区分	年間目標人数（人）	年間実績人数（人）	達成率
大東市	2,500	2,328	93.1%

### 過去5年の目標と実績の推移



【表2】 《大東市献血推進協議会委員構成》

区分	役職・組織・団体名称	委員数
大東市・大阪府	市長・保健所	2
福祉関係者・団体	民生委員児童委員協議会・ボランティア団体連絡会	3
社会教育関係団体	大東市女性の会	2
社会運動団体	青年会議所、大東ライオンズクラブ・東大阪大東堺ライオンズクラブ	3
学識経験者	元市議会議員、元福祉委員	2
社協役職員	社会福祉協議会会長	1
合 計		13

【表3】《広報啓発活動一覧》

区 分	内 容
献血街頭 キャンペーン	○令和5年 7月7日(金) 午前10時～午前10時30分 参加協力者 16名 ○令和5年12月1日(金) 午前10時～午前10時30分 参加協力者 15名 【場所・実施方法】 住道駅前デッキ周辺・ポケットティッシュ配布
広報誌記事掲載	市報12回
その他	実施会場での呼びかけ、広報車の地区巡回、ポスター掲示など

【表4】《地域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実 施 場 所	主 催	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	23	日	住道駅前デッキ	大東フレンドフォーラム	52	49	3	48	1
2		29	祝	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	49	40	9	40	0
3	5	3	祝	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	49	38	11	38	0
4		4	祝	池田泉州銀行大東支店	大東市献血推進協議会	20	18	2	18	0
5		5	祝	池田泉州銀行大東支店	大東ライオンズクラブ 東大阪大東啜ライオンズクラブ	48	42	6	39	3
6		13	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	36	28	8	27	1
7	6	10	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東フレンドフォーラム	63	54	9	53	1
8		25	日	住道駅前デッキ	大東市献血推進協議会	43	37	6	37	0
9	7	7	金	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	24	19	5	19	0
10		22	土	ポップタウン住道スペイン広場	東大阪大東啜ライオンズクラブ	50	43	7	43	0
11	8	3	木	大東市役所	大東市献血推進協議会	61	52	9	52	0
12		6	日	住道駅前デッキ	福祉と教育の街を推進する会	43	40	3	37	3
13		17	木	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	23	17	6	16	1
14		27	日	住道駅前デッキ	大東フレンドフォーラム	31	28	3	28	0
15	9	2	土	住道駅前デッキ	大阪大東モラロジー	34	30	4	30	0
16		17	日	末広公園	大東市献血推進協議会	32	28	4	28	0
17	10	18	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	41	34	7	34	0
18	11	26	日	末広公園	大東市献血推進協議会	21	17	4	17	0
19	12	1	金	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	13	10	3	10	0
20		23	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	43	31	12	31	0
21	1	13	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	41	40	1	40	0
22	2	4	日	住道駅前デッキ	福祉と教育の街を推進する会	57	50	7	49	1
23		7	水	大東市役所	大東市献血推進協議会	59	50	9	50	0
24		24	土	ポップタウン住道スペイン広場	東大阪大東啜ライオンズクラブ	61	52	9	51	1
25	3	6	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	32	25	7	25	0
小 計						1,026	872	154	860	12

【表5】 《職域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実施場所	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	10	月	大阪府立消防学校	194	135	59	135	0
2		20	木	大東中央病院	36	27	9	26	1
3				東新鉄建株式会社	12	11	1	11	0
4	5	26	金	野崎徳洲会病院	57	40	17	40	0
5	6	7	水	中北製作所	44	34	10	34	0
6		20	火	阪奈病院(阪奈苑)	20	20	0	19	1
7		23	金	船井電機(株)	14	14	0	14	0
8				川村義肢株式会社	10	9	1	9	0
9	7	11	火	大東四條畷消防本部	19	15	4	15	0
10		17	月	大阪中央ダイカスト	59	47	12	47	0
11		21	金	ニッポー株式会社	36	28	8	28	0
12	8	4	金	パナソニック(株)産業デバイス事業	49	43	6	43	0
13				大阪府四條畷警察	26	22	4	22	0
14		21	月	大東市民会館	32	31	1	31	0
15		23	水	株式会社椿本カスタムチエン	31	28	3	28	0
16	9	27	水	株式会社永木精機	82	72	10	72	0
17	10	6	金	大東中央病院	32	26	6	25	1
18				大阪府立消防学校	173	111	62	111	0
19		30	月	アマゾンジャパン大東FC	40	34	6	34	0
20	11	21	火	野崎徳洲会病院	51	36	15	33	3
21				東新鉄建株式会	14	13	1	13	0
22	12	1	金	大東市上下水道局	8	8	0	8	0
23		13	水	ニッポー株式会社	27	23	4	23	0
24		19	火	阪奈病院	25	23	2	21	2
25				大東四條畷消防本部	14	14	0	14	0
26	2	7	水	船井電機(株)	21	19	2	19	0
27				大阪府四條畷警察	17	16	1	16	0
28		8	木	パナソニック(株)産業デバイス事業	37	33	4	33	0
29		19	月	株式会社椿本カスタムチエン	27	27	0	27	0
30	3	22	金	明星金属工業株式会社	12	11	1	11	0
小計					1,219	970	249	962	8

【表6】 《学域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実施場所等	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	4	火	大阪産業大学	38	30	8	30	0
2	11	30	木	大阪産業大学	45	36	9	32	4
小計					83	66	17	62	4

【表7】

区分	受付数	採血数	不適	400ml	200ml
地域献血	1,026	872	154	860	12
職域献血	1,219	970	249	962	8
学域献血	83	66	17	62	4
合計	2,328	1,908	420	1,884	24

## 17 貸付制度

### 1 大阪府生活福祉資金

この貸付金は、低所得者や高齢者、障害者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の向上、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

令和5年度、福祉資金については、住居の移転や障害者用自動車購入費用として、生活困窮の世帯へ貸付を行いました。また、教育支援資金については、高校、大学等への就学に必要な資金の貸付を行いました。

#### 《取扱件数及び金額》

資金の種類	申請件数	申込金額(千円)	貸付件数	貸付決定金額(千円)
福祉資金	5	4,147	4	4,078
教育支援資金	5	2,393	5	2,374
計	10	6,540	9	6,452

### 2 大阪府生活福祉資金(総合支援資金)

この貸付金は、失業や減収により生計の維持が困難になり、生活再建のため継続的な相談支援を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対して資金を貸し付けることにより、世帯の自立を支援します。なお、令和5年度の申請はありません。

### 3 生活福祉資金(緊急小口資金)

この貸付金は、初回給料、年金、公的給付までのつなぎや傷病、解雇、休業などの理由により一時的に著しい生活困窮に陥ったときに、その世帯に対し生活の改善・自立のために必要な資金を貸し付けています。

#### 《取扱件数及び金額》

申込件数	貸付件数	貸付決定金額(千円)
13	10	921

## 4 臨時特例つなぎ資金

この貸付金は、大阪府内に居住予定の離職者を支援するため、公的給付制度・貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、その資金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立した生活を支援することを目的としています。

なお、令和5年度の申請はありません。

## 5 フォローアップ支援事業

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付（以下、「新型コロナ特例貸付」）を借り受けた世帯で、生活に困窮し支援が必要と考えられる世帯に対し、償還猶予・免除や生活再建に向けた適切な支援に繋げることを目的としています。

### ○ 相談対応件数（年間延べ件数）

・ 猶予申請等への対応 1, 007件

電話等 835件、窓口 105件、郵送 67件

・ 猶予決定者への対応 1, 249件

電話等 1, 092件、窓口 80件、訪問 3件、郵送 74件

### ○ 外国人への対応 22件

## 18 善意銀行の状況

預託された方の意思を十分考慮したうえで、援助が必要な方のために役立てます。

### 《預託内容》

- ・ 現金 36, 000円、車椅子1台、KAGOME GREENS スムージー300個  
ラーメン15ケース、  
紙おむつ、母乳パッド、乾麺そば

## 19 共同募金運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

「赤い羽根」のシンボルマークで、毎年10月の風物詩として全国で繰り広げられ市民に定着している「共同募金」は、民間社会福祉施設や地域福祉を推進する社協等の組織団体に配分され、貴重な財源となっています。

本市では今年度も、区自治会を通じたの地区募金と、関係団体等による募金箱の設置等により、大きな成果を上げることができました。

### 《募金実績一覧》

区分・説明	金額(円)	備考
戸別募金	4,757,240	
街頭募金	93,065	共同募金協力型自動販売機の募金含む
法人募金	3,833	大阪府共同募金会への直接入金分含む
バッジ募金	325,000	500円×650個
合計	5,179,138	

## 20 歳末たすけあい運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

毎年、年の瀬の風物詩「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として実施されています。「みんなでささえあうあったかい地域づくり」を合言葉に、今年度も大きな成果を上げることができました。

### 《募金実績一覧》

区分	金額(円)	備考
戸別募金	4,627,466	
個人・団体募金	39,950	
合計	4,667,416	

### 《募金配分実績一覧》

助成事業名	件数	金額(円)
校区福祉委員会運営費助成	15	3,000,000
ふれあい喫茶事業	5	1,600,000
合計	20	4,600,000

## 21 空き家活用事業「RiBBON」

誰でも気軽に立ち寄れる居場所を開放し、季節ごとのイベントやIT教室を開催するほか、フードバンクの取り組みを実施するなど、住民・団体・組織のゆるやかなつながりづくりを通して、地域共生社会の実現を目指す事業です。

令和4年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、文化住宅の一室と庭を借り、庭の手入れとウッドデッキづくりを行うなどの準備期間を経て、令和5年4月に本格的に事業を開始しました。事業の運営費は共同募金を活用し、住民の孤独・孤立防止、居場所づくり、地域活動への参加支援を行いました。地域住民の興味・関心を喚起し参加しやすい、庭や居室を活用したイベント（SDGsなど）を開催するほか、食品ロス削減に関する取り組みを活かしたフードバンクを実施しました。

本会との関わりが少ない層や団体とのつながりができるなど成果がありました。今後は新たな事業活動を展開する拠点としての役割を果たしていくよう努めていきます。

### 《活動実績》

月	フードバンク 配布数	一般 利用者	イベント 参加者	月	フードバンク 配布数	一般 利用者	イベント 参加者
4月	11	45		10月	64	76	51
5月	16	65	40	11月	60	34	
6月	63	32		12月	43	52	17
7月	74	63	51	1月	39	34	
8月	86	74	70	2月	41	46	11
9月	86	4		3月	43	27	

○ フードバンク配布数（年間） 626個

○ 一般利用者（年間） 552人

○ イベント参加者（年間） 240人

### （イベント内容）

5月イベント 世界のお茶会（異文化交流）

7月・8月イベント 宿題教室（小学生）

10月イベント 収穫祭（対象制限なし）

12月イベント クリスマス会（聴覚障害とボランティア団体）

2月イベント 親子で楽しむ「お話し会」（未就学児と保護者）

## 22 ボランティア基金の状況

「ボランティア基金」は、ボランティア活動の振興を図ることを目的に昭和61年度に創設しました。平成12年には当初目標の1億円を達成し、令和5年度に長期国債を購入し、安全で有利な資金運用を行っています。また、この利息をボランティアセンターの運営費や下記の登録団体への助成に充てています。

《ボランティア団体に対する活動助成》

5万円助成（③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑮⑯⑰の団体）

4万円助成（②の団体）

3万円助成（①⑭の団体）

総額＝800,000円

①	ボランティアさんごじゅの会	⑩	日本語ボランティアパステル
②	ボランティア縫心会	⑪	パソコンボランティアパソ救
③	手話サークル虹	⑫	要約筆記ボランティアダンボ
④	点訳ボランティアたんぼぼ	⑬	シルバーアドバイザー大東の会
⑤	音訳ボランティアともしび	⑭	ギターサークル「トパーズ」
⑥	ボランティアエンゼルQ	⑮	パソコン・ドクター
⑦	在宅介護ボランティアほっと	⑯	大東傾聴の会「えがお」
⑧	難病介護ボランティアふれあい	⑰	大東ハーモニカアンサンブル
⑨	送迎介護ボランティアよりそい		

## 23 社会福祉基金の状況

本会の社会福祉活動の推進と安定した運営を図るため、「社会福祉基金」を運用しています。

《寄付金実績一覧》

区 分	金 額 (円)	件 数
個人寄付金	84,000	7
組織・団体寄付金	299,939	7
窓口募金箱	6,931	1
寄付金合計額	390,870	15

## 24 コミュニティソーシャルワーカー配置事業

大東市では地域の身近な相談窓口として市内8か所に「安心・いきいきネット相談支援センター」を設置しており、年齢や内容を問わず、さまざまな困りごとや悩みごとの相談を行う専門員としてコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しています。「困ったときに相談できる人がいる」大東市に住むすべての人がそう思えるような、地域の支え合いやつながりづくりを進めています。

本会は、平成16年10月に大東市から住道中学校区の委託を受け、平成25年度には大東中学校区の委託も受けました。平成29年度からは、細やかな相談体制をとるために小学校区割となり、担当エリアは泉小学校区・住道南小学校区・灰塚小学校区となりました。

相談対象者	延べ件数
高齢者	129
障がい者	52
子育て中の親子	13
一人親家庭の親子	5
青少年	2
DV 被害者	0
ホームレス	0
外国人（中国帰国者を含む）	0
地区組織	570
行政機関	87
教育機関	9
就労機関	0
医療機関	24
保健所	38
高齢者関係機関	68
障害者関係機関	35
児童関係機関	10
福祉関係機関	28
一般企業	53
住民グループ	17
上記以外の住民	118
CSW	91
合 計	1349

相談内容	延べ件数
福祉制度・サービス	177
生活に関する身近な相談	63
健康・医療	40
生活費	38
就労	5
財産管理・権利擁護	35
消費者被害	0
多重債務	1
DV・虐待	1
地域福祉・ボランティア活動	586
住宅	45
子育て・子どもの教育	30
見守り・傾聴	57
支援・調整	151
手続き支援	14
入所・入、退院	25
家族・対人関係	70
介護	9
依存	0
人権	0
災害	1
法律問題	1
合 計	1349

## 25 生活困窮者自立相談支援事業

市の受託事業として、生活に困窮している方を対象に、生活保護受給に至る前の段階で自立した生活を送れるよう、市役所福祉政策課に窓口を設置し相談員を配置しています。

コロナ禍による債務の増加や物価高騰の影響で生活苦に対する相談に対して、就労や家計相談を実施するほか、資金貸付、住居確保給付金等を活用し、自立に向けた支援を行いました。

また、ひきこもりや依存症など複合的な地域生活課題を抱える世帯について、支援関係機関と連携し対応するなど、ネットワークを活用し課題の解決を図りました。

### 《新規相談受付件数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	27	37	35	51	32	40	27	29	35	27	21	35	396

### 《支援実績（新規・継続）》

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談・メール等	86	92	117	131	129	122	91	81	88	89	88	111	1,225
窓口	69	89	98	72	78	66	64	58	77	63	51	88	873
訪問	5	1	2	1	2	0	2	0	4	3	2	0	22
同行支援	3	7	9	7	6	9	7	2	5	5	5	4	69
面談	106	118	130	115	116	102	107	81	127	86	75	81	1,244
所内会議	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	4
支援調整会議 (プラン策定)	6	4	7	4	2	5	8	8	8	7	7	5	71
支援調整会議 (評価実施)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3
他機関との電話照 会・協議	1	3	0	1	2	0	0	5	1	4	1	3	21
その他	42	49	59	39	42	46	29	43	44	57	58	40	548
合計	318	363	422	372	378	352	308	278	354	315	288	332	4,080

《経済的困窮・就労以外の相談》※複数カウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸付	6	6	16	12	7	4	19	17	14	4	10	5	120
給付金	77	82	72	43	62	65	45	21	22	30	51	38	608
家計相談	2	2	3	3	4	1	2	4	3	3	2	5	34
DV・虐待	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	5
引きこもり	0	3	1	0	0	4	0	0	1	1	1	1	12
自死企図	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
職業訓練	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
外国籍	0	0	3	5	2	0	1	2	1	3	1	0	18
合計	87	93	96	64	75	74	67	45	42	42	65	52	802

《住居確保給付金》

決定件数 26件、対応件数 608件

## 26 生活困窮者緊急物資等支援事業

本会の独自事業として、失業、給料の遅配、疾病などの理由により、日々の食事を満足に摂れない生活困窮者に対し、善意銀行を活用し、一定の期間に限り食材の提供や備品の貸与を行い、自立に向けて関係機関等とともに支援を図っています。

○ 提供食材・・・米、レトルト食品、インスタントラーメン、缶詰など

○ 貸与備品・・・カセットコンロ、ボンベ、ランタン、カイロなど

食料提供件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	3	3	5	0	3	4	1	3	3	3	3	3	6

## 【指定管理者事業】

### 27 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）

本事業は昼間、就労や疾病のため自宅に保護者のいない小学校6年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供し健全育成を図ることを目的としています。

開設当初から児童の安全・安心を重視し、利用者サービスに繋がる取り組みを積極的に行いました。また、主任制を導入することで、保護者への対応や学校との連携を密にし、クラブ間の連絡等、円滑かつ効果的な運営を図ってきました。

現在、12箇所の小学校28クラブを運営しています。令和5年度当初における登録児童総数は1,153人と毎年1,000人以上の登録となっております。

児童クラブは児童の安全を見守り、就労している保護者等を支援する施設として運営しています。また、市、小学校と連携を図りながら、児童クラブの管理運営を行いました。令和5年度は放課後児童クラブ発表会も感染対策を講じたうえ実施しました。

#### 《利用平均人数》

	四条北	泉	氷野	灰塚	南郷	住道北	住道南	四条	深野	北条	三箇	諸福	計
人数	88	97	64	105	81	80	111	87	85	83	84	121	1,086
延長	17	10	8	11	18	10	8	11	11	7	11	18	140
土曜	7	17	12	13	10	12	11	15	15	7	18	23	160
障害児	9	8	3	6	3	4	6	5	6	5	11	10	74

#### 《通年事業》

- ◎ 誕生日会(毎月1回)・七夕・夏祭り・クリスマス・年賀状・正月遊び・節分・お別れ会
- ◎ 防災訓練(令和5年8月10日(木)全クラブで防災頭巾を使用し地震訓練の実施、非常食の試食)
- ◎ ファミリーディ製作(母の日・父の日)、シルバードイ、三好長慶ポスター制作

#### 《実施した事業》

- 第8回放課後児童クラブ発表会とエコ絵画展示の同時開催  
令和5年12月3日(日)サーティホールにて全児童クラブによる発表会を3部構成で実施。
- 学習教室…教員OBによる指導  
教員OBによるプリント作成による学習と、教員OBによる指導を実施。
- 子ども安全教室、三好長慶武者行列参加  
大阪府警察本部による不審者に対する安全教室
- 福祉委員会サロン参加者と交流(南郷小校区)
- 福祉施設への慰問(百楽荘)

【指定管理者事業】

## 28 総合福祉センター事業

令和5年度は、第四期目となる指定管理期間がスタートし、障害者福祉・高齢者福祉・社会福祉の役割と機能をもつ複合施設を運営し、高齢者、障害者福祉の増進と利用者サービスの向上を目的として様々な事業を実施いたしました。自主事業では、「健康チェック&相談会」「手話落語会」「足湯事業」「スマートフォン活用講座」「カラオケ交流会」「緑化事業」等を開催しました。継続事業では、障害のある方の芸術文化活動を振興するため、創作的活動教室を実施して利用者の交流の機会作りに努めました。施設管理面では、利用者の皆様に快適な空間を提供できるよう設備の整備を進めました。

また、喫茶『福°ぷく』は、障害者施設に運営していただき障害のある方の就労体験の場としても活用され、利用者の交流の場として喜ばれています。

《利用対象者》 大東市内在住の60歳以上の高齢者、または身体障害者手帳をお持ちの方

《利用時間》

窓口業務	午前9時～午後8時45分
各部屋の貸出し	午前9時～午後8時45分
入浴サービス	火・水・木・土曜日（午前11時～午後2時45分）
囲碁, 将棋, ビリヤード, 娯楽室利用	午前9時～午後5時
休館日	日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

《利用者人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体障害者福祉C	368	484	610	488	430	530	525	501	465	461	566	427	5,855
老人福祉C	3,139	2,963	3,391	3,114	3,148	3,108	3,426	3,252	3,297	2,991	3,079	3,114	38,022
社会福祉C	821	913	1,043	949	379	798	1,422	1,043	525	728	919	1,259	10,799
その他	302	297	430	368	339	288	382	422	401	408	480	398	4,515
合計	4,630	4,657	5,474	4,919	4,296	4,724	5,755	5,218	4,688	4,588	5,044	5,198	59,191

《自主事業》

健康チェック&相談会	利用者の体調管理をサポートするため、看護師や管理栄養士等により、体組成計などの機器を用いた健康測定や健康相談を実施した。
足湯事業 『利用者の健康を 考える日』	利用者に対し冷え症の改善や疲労回復等に効果がある足湯を提供している。 また同時開催として毎回、各種教養講座も実施した。 (毎月第3金曜日に実施)
緑化事業 『花と緑あふれる センターづくり』	総合福祉センター緑化協力員の協力を得て、四季折々の花を育てエコ対策およびセンターの景観づくりと利用者へのサービス向上を図ることを目的として花と緑あふれるセンターづくりを推進した。

## 総合福祉センター事業実績一覧

月	日	月別活動	内 容	参加人数
4	21	サウンドテーブルテニス	全国障害者スポーツ大会の競技のひとつで、 視覚に障害がある方が行う卓球	9
	21	教養講座&足湯	元気にいきいき生活するための介護予防の話 講師：大東市地域包括支援センター 作業療法士	13
	24	シニア向けスマホ活用術	新しい生活様式スマホ活用術など 講師：スマホアドバイザー	15
5	11	教養講座	母の日父の日に贈る絵手紙体験 講師：永田 美代子 氏	5
	16	聴覚障害者問題学習会	特別な子育てについて 講師：難聴児をもつ親の会 牧野ゆきよ 氏	23
	19	教養講座&足湯	睡眠の質を高めるイキイキ生活 講師：千成ヤクルト 井上 英樹 氏	12
	30	健康チェック&相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	12
6	1	言語訓練	今日から使えることばのリハビリ 講師：言語聴覚士 藤平 健太郎 氏	22
	8	シルバーeスポーツ体験	脳の活性化や認知機能の低下予防が期待される 健康ゲーム	23
	9	教養講座	父の日に贈る絵手紙体験 講師：永田 美代子 氏	5
	15	聴覚障害者成人講座	粗大ごみの有料化 講師：大東市環境室職員	16
	16	教養講座&足湯	熱中症予防講座 講師：千成ヤクルト 井上 英樹 氏	12
	22	ディスコン体験	円盤を投げ、どちらがポイントに近づいている かを競う競技	19
7	21	健康チェック&相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	21
	24	教養講座&足湯	椅子に座ってフラダンス 講師：プメハナ	20
	25	教養講座	姿勢リセットピラティス 講師：岡崎 順子 氏	15
	29	聴覚障害者成人講座	靴下工場と道の駅かつらぎ見学	13
8	18	サウンドテーブルテニス	全国障害者スポーツ大会の競技のひとつで、 視覚に障害がある方が行う卓球	8
	25	聴覚障害者問題学習会	手話通訳者としての体験談と良い手話通訳者になるためには 講師：手話通訳士 西田 功 氏	22
	25	夜間消防訓練	夜間の火災時の通報、避難、消火訓練により 人命の安全確保と災害を予防	10
	28	シニア向けスマホ活用術	LINEとスマホ決済を中心に基本操作の体験 講師：スマホアドバイザー	17
	29	聴覚障害者成人講座	健康寿命についての基礎知識及び骨強度測定 講師：森永乳業 安部 純 氏	21

9	9	言語研究会	ハーモニカ合唱による訓練	7
	18	敬老の日特別開館	敬老の日に開館してヒノキ湯のサービス実施	95
	18	教養講座&足湯	手話落語 講師：宇宙亭 あんみつ 氏	11
	18	聴覚障害者成人講座	そば打ち体験 講師：廣中 嘉明 氏	18
	18	消防訓練	火災時の通報、避難、消火訓練により 人命の安全確保と災害を予防	20
	18	アロマでリフレッシュ 「癒しの空間づくり」	心身をリラックスさせるアロマの香りで 癒し空間を提供	20
	18~22	作品展及びパネル展	障害者ふれあい作品展及び 障害者差別解消法パネル展	30
	28	ディスコン体験	円盤を投げ、どちらがポイントに近づいている かを競う競技	18
	30	聴覚障害者問題学習会	子どもの手話の力を育む活動について 講師：NPOこめっこ 久保沢 寛 氏	15
10	14	聴覚障害者成人講座	吹田市リサイクルセンターとニフレル見学	14
	23	健康チェック&相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	20
	24	聴覚障害者問題学習会	手話っていいね！ 講師：岡本 かおり 氏	27
	27	教養講座&足湯	足裏健康マッサージ体験 講師：榎 悦子 氏	14
11	17	教養講座&足湯	認知症予防体操 講師：石田 竜生 氏	15
	20	健康チェック&相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	30
	27	シニア向けスマホ活用術	LINEとGoogleレンズを中心に基本操作の体験 講師：スマホアドバイザー	22
12	4	教養講座&足湯	ハンドベルクリスマスコンサート 講師：ベル奏音	29
	14	ディスコン体験	円盤を投げ、どちらがポイントに近づいている かを競う競技	20
	15	サウンドテーブルテニス	全国障害者スポーツ大会の競技のひとつで、 視覚に障害がある方が行う卓球	6
	15	教養講座	姿勢リセットピラティス 講師：岡崎 順子 氏	16
1	19	健康チェック&相談会	体組成計などの機器を用いた測定及び相談	17
	20	教養講座&足湯	琴と吹奏楽の新春演奏会 講師：緑風館高等学校箏曲部・吹奏楽部	26
	25	センターディスコン競技大会	円盤を投げ、どちらがポイントに近づいている かを競うセンターの競技大会	34
	26	教養講座	はじめての絵手紙体験 講師：永田 美代子 氏	7
	31	カラオケ活動団体交流会	カラオケ活動団体及びセンター利用者相互の 交流の促進	45

2	10	聴覚障害者成人講座	ダイエット料理教室 講師：交野・暁・大東地域活動栄養士会	14
	10	教養講座	バレンタインに贈る絵手紙体験 講師：永田 美代子 氏	7
	16	教養講座&足湯	特殊詐欺被害防止等の教室 講師：大阪府警察本部 生活安全指導班	17
	27	聴覚障害者問題学習会	ろうあ運動と私の関わり 講師：儀野 孝 氏	19
3	15	サウンドテーブルテニス	全国障害者スポーツ大会の競技のひとつで、 視覚に障害がある方が行う卓球	8
	18	教養講座&足湯	クイズで学ぶ目の健康について 講師：千成ヤクルト 古田 稜也 氏	16
	21	ディスクン体験	円盤を投げ、どちらがポイントに近づいている かを競う競技	10
毎月 事業	<p>足湯事業：高齢者を対象に健康増進事業として足湯と健康チェック実施(185名参加)</p> <p>楽しい絵手紙教室：絵手紙講座を通じて参加者相互の交流を図るため実施 (96名参加)</p> <p>元気でまっせ体操：転倒による骨折や認知症により介護が必要となることを防止するため実施 (1,755名参加)</p> <p>ディスクン：高齢者の室内スポーツで機能回復訓練の一環として実施 (288名参加)</p> <p>言語訓練：言語障害のある人を対象に機能の維持向上のための訓練を実施 (84名参加)</p> <p>創作的活動教室 (生花・木彫り・水彩画・さをり織り・茶道)：障害者の芸術文化活動を振興するため 実施 (465名参加)</p>			

大東市社会福祉協議会

マスコットキャラクター 『ポラーナ』



多様性を認め 住民同士が支え合い

生きがいを共に創り 高め合うことができる

「地域共生社会」の実現を目指して